

令和7年度  
すくわくプログラム活動報告書  
(実施対象：1歳児クラス)

モニカ矢口渡園

Monica

テーマ

## 形の可能性

### 設定理由

積み木やボール遊びをするなかで、重ねたり並べたり転がすなど、形によって扱い方を変えている。また、サイズ違いの同じ形をはめていく型はめパズルや、形や絵柄で合わせるパズルを繰り返し楽しむ姿が見られる。ピースがはまると嬉しそうにし、はまらない際に回転させるなど子ども自身で試行錯誤をしている。形に注目することで形の豊かさや子ども達の自由な発想や気づきを楽しんで欲しいと考えたため。

保育園が住宅や商店街、公園など様々な施設が混在する環境にあることを活かし、多くの形に触れたり見つけたりが可能である。

### 対象クラス

1歳児クラス・10名

### 活動のねらい

様々な形の豊かさや形自身の性質に面白さや興味を持つ

### 問　い

「どんな風に見える」「同じかな」「違う形かな」

### 活動期間

令和7年7月～12月

### 活動回数

計6回

## 活動①

### 四角の形に触れる

---

#### 環境構成

- ホールで行う
- カプラ、白木の積み木、ポーネルンドの積み木などの四角い形のみが置かれた環境で四角の形に触れる

## 活動②

### 丸の形に触れる

---

#### 環境構成

- 階段下で行う
- 木球や丸い木のスライスなどの丸い形のみが置かれた環境で丸の形に触れる

## 活動③

### 三角の形に触れる

---

#### 環境構成

- 階段下で行う
- 三角のカラー積み木や白木の三角積み木などの三角の形のみが置かれた環境で三角の形に触れる

## 活動④

### 戸外で形探し

---

#### 環境構成

- 散歩や戸外遊びの際に、身近にある形を探し、その様子や形を写真に撮り、保育室内に掲示する

## 活動⑤

### 様々な形のスタンプあそび

---

#### 環境構成

- 保護者参加の行事の際に、丸・正方形・長方形・三角など様々な形の積み木などを用意し自由にスタンプ遊びをする。
- 絵の具が乾いたら、保育室内に掲示をする。

## 使用物

木製の球体 | 三角形の積み木 | 四角形の積み木 | 木のスライス | カプラ | 絵の具  
模造紙 | 記録用スマホ

## テーマ：形の可能性

## 全体の振り返り

形それぞれによって子ども達の関わり方が違く、その形だからこそその性質を体感しながら遊んだり、試したりする様子が見られた。また、繰り返し扱うことで形への意識が高まり園内外の形探しでは、今まで気づかなかった形に目をとめるようになった。身近なものにフォーカスすることで、子ども達も楽しんで行っていた。様々な探究や探索を通じて、形がより身近なものになった。今後も子ども達の気づきや興味関心を大切に「形」を楽しんでいきたい。

終

## いちご組（1歳児） 探究活動

【テーマ】形の可能性

【テーマを設定した理由】

（子どもの姿や興味関心、テーマ設定にあたって活かした園の強みや環境など）

積み木やボール遊びをするなかで、重ねたり並べたり転がすなど、形によって扱い方を変えている。また、サイズ違いの同じ形をはめていく型はめパズルや、形や絵柄で合わせるパズルを繰り返し楽しむ姿が見られる。ピースがはまると嬉しそうにし、はまらない際に回転させるなど子ども自身で試行錯誤をしている。形に注目することで形の豊かさや子ども達の自由な発想や気づきを楽しんで欲しいと考えたため。

保育園が住宅や商店街、公園など様々な施設が混在する環境にあることを活かし、多くの形に触れたり見つけたりが可能である。

【ねらい】

様々な形の豊かさや形自身の性質に面白さや興味を持つ。

身近なものに意識を向けることで、自分を取り囲む環境を広げていく。

【キーとなる問い】

「どんな形かな」「どんな風に見える」「同じかな」「違う形かな」

【活動スケジュール】

令和7年7月～令和7年12月

### プロジェクト保育①

実施日：7/11（金）四角の形に触れる

7/29（火）丸の形に触れる

8/13（水）三角の形に触れる

○ねらい

- ・各形に触れ、性質に興味を持つ。

○問い

「どんな形かな」「どんな風に見えるかな」

○活動内容・環境構成

（四角の形に触れる）

- ・ホールで行う。

・カプラ・白木の積み木・ポーネルンドの積み木などの四角い形のみが置かれた環境で四角の形に触れる。

・シートの上に様々な四角の積み木を置く。シート上にあることで、より積み木に対して注目が向くようにする。

・机やベンチや傾斜を用意することで、座りや立ちなど自由な姿勢や視線で向き合うことができるようにする。

・あえて積み木のケースも置いておく。

### ●積む 重ねる

バランスを調整しながら積む子もいれば、同じ形を選択して積み重ねていく子もいる。



### ●傾斜を滑らせようとする

思ったように積み木が進まず上手から力を  
上手から力を徐々に加えて  
動く様子確かめる。



### ●並べる デザインする

面をそろえ隙間がないように並べていく。  
全体を見ながら積み木を配置していく。  
長辺を合わせる姿もあれば、短辺を合わせ  
長さを意識している姿もある。  
同じ積み木を選択する子もいるし、  
そうでない子もいる。



### ●ケースに並べる

ケースのふちに合わせて入れていったり、空間を空けて入れたり繰り返し試す。



(丸の形に触れる)

- ・階段下で行う。
- ・木球や丸い木のスライス、円柱形などの丸い形のみが置かれた環境で丸の形に触れる。
- ・転がることが予想されるためケースや傾斜を用意する。

●転がす

転がす、転がっていく球体を見つめる中で、集めるには隅に動かしていくと良いと気づき動きを見ながら球体を寄せていく。



### ●叩き合わせる

手に取りやすく手のサイズにおさまりやすいからか、両手に持ち叩き合わせる。  
四角や三角では、見られなかった。



### ●重ねる 積む

木のスライスや円柱形の積み木を上積み重ねていく。



## ●落とす

落ちる際の音や動き、落ちた後の軌道などを見たり聞いたりする。



(三角の形に触れる)

- ・階段下で行う。
- ・三角のカラー積み木や白木の三角積み木などの三角の形のみが置かれた環境で三角の形に触れる。

## ●平面や直線部分を合わせる

面や線の部分を合わせて並べようとするが、四角のようにはいかず何度も積み木の面を変えたり置く場所を変えている。



## ●重ねる 積む

高くしていくが頂点の部分が上になってしまいますと、それ以上重ねることができず崩れてしまう。



### 【振り返り】

- ・球体（丸）は、手に取りやすく親しみやすさを感じているのか特に興味を持つ姿があった。
- ・四角の積み木は、並べたり積んだりする姿もあったが、丸がより興味を持ちやすい子ども姿があった。
- ・三角の積み木では、面の向きによって形が違ふことや角ばっていて手に持ちづらいから遊びが広がりにくかった。
- ・共通する扱い方もあるが、その形だからこその扱い方も見られた。今後、分けるのではなく様々な形を一緒に用意することでの形同士の関係や性質の面白さなどを深めていけたらと思う。

## プロジェクト保育②

実施日：8/25～8/29

### ○ねらい

・球体、四角、三角など性質の違う積み木と一緒に用意することで、各形の性質や面白さを体感し、多様な関わりや可能性を味わう。

### ○問い

「どんな風なるかな」「どんな形かな」

### ○活動内容・環境構成

- ・ホールにて行う。
- ・様々な積み木を用意する。
- ・ホールに用意している積み木に注目できるように絵本棚にはシートをかける。

### ●同じ種類のみ組み合わせる

複数種類を準備しているが、同じものを選択し並べたり重ねたりする。  
球体に関しては、転がらないようにマットの上で並べている。



### ●複数種類組み合わせる

重ねるという行為に面白さの重きがあり様々な種類を組み合わせている。  
バランスを保てるようにどれも中央に重ねていく。



### ●道具として扱う

長方形の積み木をバチのように扱い、球体を転がすツールにしていた。



#### 【振り返り】

- ・単一の形だけでは見られない扱い方や関わり方が見られた。
- ・なじみのある積み木の形のみの子もいたが、選択できる環境を準備したことで、子どもそれぞれの関わりや性質の捉え方が見えた。

### プロジェクト保育③

実施日：9月

#### ○ねらい

- ・今まで触れてきた丸、四角、三角の多面的な見え方や面白さを味わう

#### ○問い

「どんな形かな」「どう見えるかな」

#### ○活動内容・環境構成

- ・保育室内の玩具棚に鏡を貼ることで、鏡への写りこみや裏側が見えるようにする。
  - ・形に合わせたポットン落としを準備することで、形の認識が高まるようにする。
- どちらも保育室内に常設することで、いつでも向き合えるようにする。

#### ●鏡にのせたり、あてたりする

写りこみをみて「ハート」と声をあげる。

同じ三角でも見る面によって形が違うのを見つめる。



## ●形を見て穴に入れる 物体と空間の認識

ポットン落としに積み木を入れていく。

まずは、球体を丸の穴に入れる子が多かった。四角は、穴の向きと積み木の向きを変える子もいれば、入れることを優先している子もいる。

三角は、向きがあわないと入れられいので苦戦する姿もあり、思いついたように丸の穴から入れる姿もあった。

繰り返し行うことで、四角や三角の向きを穴と同じにそろえて入れることができるようになった。

## ●友だちと交差する

入れたい場所が同じや戸惑っている友だちに手を伸ばすなど、形の活動の中で友だち同士の交差が生まれていた。



### 【振り返り】

・鏡では写り込みの不思議さや面白さ、ポットン落としでは形や向きが違って入れることが可能なものもあれば、向きがあわないと入れることができないものがあることを体験していた。そのため、繰り返しの中で向きを合わせて入れる姿が格段に増えていた。形の可能性面白さを繰り返しの中で味わい、自身の行いたい動きに対して形を考え試行していた。

・友だちのスムーズに入れている姿に刺激を受け、取り組み、同じ積み木やケースを共有することで友だちとの関わりも生まれていた。

## プロジェクト保育④

実施日：9月～11月

### ○ねらい

・今まで触れてきた丸、四角、三角を園内外で探していくことで、形の面白さや周りへの環境への意識を高めていく。

### ○問い

「どんな形かな」「丸あるかな」「四角はどこ」「三角あるなか」

### ○活動内容・環境構成

- ・室内に丸、正方形、長方形、三角のマグネット積み木を用意する。
- ・かたちがモチーフになっている絵本を取り入れる。
- ・室内の玩具に今まで関わってきた積み木を置き、いつでも遊べるように引き続きしておく。
- ・戸外に出た際に形に目が向くように声をかけていく。
- ・子ども達が見つけた戸外の形を保育室内に貼り、再度認識し、見つけた際の満足感や面白さを味わえるようにする。

### ●形を見つける

子ども達との対話の中で形の話題をしたり、子ども達の発見を共有していったりしたことで、形に対してアンテナを張っているようで、見つけると誇らしげに教えてくれる。その際にじっくりとじっくり見つめ、実際に触って確認する姿がある。



## ●見つけた形を振り返る

可視化することで、子どもがじっくり観察する時間を設けているようだった。

また、サイズの違いや色彩で認識しにくい部分も分かりやすいようで、再度出かけた際は子どもたちから気づきを教えてくれる姿が増えた。



### 【振り返り】

・丸は子ども達も見つけやすく、様々な場所にあるので反応が早かった。四角も大きさによって認識しにくいものもあったが、楽しんで探していた。三角に関しては、道路標識以外見つけるのが難しかったが、おやつで提供されたおにぎりや公園の小さなマークに気付いたときは、とてもうれしそうであった。

・より身近なものにフォーカスすることで日常に潜む普段気づかなかった形に気づき、子ども達も自然と探すことを楽しむ姿につながった。

・見つけた物を掲示することで、じっくり観察することもでき新たな気づきも多かった。また、自身が見つけた経験を認めてもらっている満足感にもつながっていた。

## プロジェクト保育⑤

実施日：12月8日

### ○ねらい

- ・様々な形を通して友だちや保護者との関係を楽しむ。

### ○問い

「どんな形かな」「どんな風になるかな」

### ○活動内容・環境構成

- ・保護者参加の行事で形スタンプを行う。
- ・十分な広さを確保しダイナミックにおこないたい子、自分のスペースでじっくりおこないたい子など選択できる環境を準備する。  
(大きくつなげた模造紙とその半分程度の模造紙、つなげていないコピー用紙)
- ・スタンプが押しやすいように紙の下には、マットを敷いておく。また、絵の具の濃度にも配慮をして扱いやすいようにする。
- ・汚れるのが苦手な子もいるのを想定し、手洗い場の確保や濡れタオルの準備をしておく。
- ・絵の具は、赤、青、黄の三色を用意する。

### ●親子でスタンプ

自由にスタンプを行う。



### 【振り返り】

- ・積み木のいろいろな面をスタンプする姿があった。
- ・親子でということ、今までの子ども達の取り組みや流れを実際に共に体験しながら知っていただけたことが大きかったと思う。
- ・普段と違う環境に戸惑う子もいたが、想定をしていたので空間の確保なども行うことができた。
- ・保護者がいたことの嬉しさや気持ちの高揚感も加わり活動の楽しさ、周りから受ける刺激も多かったと感じる。

### 探究活動を通して

- ・様々な活動や遊びを通して、形がより身近で魅力あるものになった。今後も子ども達の気づきや教に関心を大切に「形の可能性」を楽しんでいきたい。



**株式会社モニカ**

〒105-0004  
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F  
TEL:03-6661-2466  
FAX:03-6661-2467

**モニカ矢口渡園**

〒144-0054  
東京都大田区新蒲田2-10-5  
TEL:03-6424-5833  
FAX:03-6424-5875